

令和6年度日本小児外科学会
第1回定例理事会議事録

日 時：令和6年6月24日（月）11：00～16：00

会 場：大阪大学東京オフィス+WEB

出席者：小野 滋（理事長）、家入里志（副理事長）、平林 健、湊本康史（以上理事）、
照井慶太（庶務委員長）、山田洋平（財務会計副委員長）、柴田晶子（以上事務局）

出席者（WEB）：

田尻達郎（前会長）、浮山越史（理事・会長）、内田広夫（理事・次期会長）
石橋広樹、尾花和子、加治 建、田中秀明、（以上理事）、越永従道、奥山宏臣（以
上監事）、田中 潔（第40回秋季シンポジウム会長）、大植孝治（第41回秋季シ
ンポジウム会長）、渡邊佳子（会長付庶務委員）、松浦俊治（前会長付庶務委員・専
門医認定委員会委員長）、文野誠久（施設認定委員会委員長）、石丸哲也（専門制度
庶務委員会委員長）

議事案件：

議 事：

1. 第1回定例理事会の議事録署名人は、石橋 広樹理事・尾花 和子理事とした。
2. 令和5年度第8回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項

1) 第61回学術集会について（田尻前会長）

田尻前会長より第61回学術集会について、資料に基づき報告された。

- ・参加登録数は現地参加・オンライン参加の合計で1198名、現地来場者数1023名、オンライ
ンのみの参加者は170名程であったことが報告された。来場者が3日間全日現地参加で
はないので、WEBを活用した方が皆に参加していただけるのではないかとの見解が述べ
られた。オンデマンド配信は高額になるが、ライブ配信のみであればオンラインと現地の
費用の差はほとんどないことが報告された。
- ・開催形態をオンデマンドにすると参加者が増えるので、アンケートを実施して会員の希望
を確認してもらいたいとの希望が述べられ、学会として学術集会・秋季シンポジウム
/PSJMの開催形態のアンケートを実施することになった。
- ・日本外科学会の会員か否か、日本小児外科学会の会員か否か等、参加者の属性について報
告された。
- ・福岡の読売広告に第61回学術集会や小児外科に関する田尻前会長のインタビュー記事を
出稿することが報告された。

会 期：2024年5月29日(水)～5月31日(金)

会 場：ヒルトン福岡シーホーク 〒810-8650 福岡県福岡市中央区地行浜2-2-3

テーマ：真のQOL向上を目指して

2) 第62回学術集会について (浮山会長)

浮山会長より、資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

- ・演題募集期間は2024年10月16日(木)から12月12日(木)とすることが報告された。
- ・会期中に開催される予定の会議について報告された。
- ・プログラムの予定について報告された。
- ・演題募集規定について報告された。
- ・第62回学術集会の演題応募における倫理的配慮と手続きについて報告された。
- ・開催形態については、アンケート結果を考慮して決定することになった。
- ・要望演題は小さな施設も発表できるようにすることが報告された。
- ・田尻前会長より、第61回学術集会では要望演題「Over 65の小児外科医」が好評だったことが報告されたことを受けて、第62回学術集会でも検討することとなった。

会 期：2025年6月5日(木)～6月7日(土)

会 場：一橋大学一橋講堂

主 題：天に星、地に花、人に愛～きみの想いを子どもたちのために～

学会HP：<http://jsps62.umin.jp/>

演題募集期間：2024年10月16日(木)から12月12日(木)

開催形式：現地開催(予定)

3) 第63回学術集会について (内田次期会長)

内田次期会長は欠席のため、報告はなかった。

4) 第40回秋季シンポジウムについて (田中潔秋季シンポジウム会長)

田中秋季シンポジウム会長より資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

- ・開催期間中のタイムテーブルについて報告された。
- ・ワーク・ライフ・バランス検討委員会企画講演会を10月25日17:00～18:30第2会場で開催する予定であることが報告された。
- ・小児内視鏡セミナーは小児外科学会教育委員会、小児内視鏡手術・手術手技研究会と共催で10月25日9:30～10:30第1会場で開催する予定であることが報告された。
- ・日本医学会連合が発出した「学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」に基づき、日本外科学会が2024年3月18日に更新した「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」を、第40回日本小児外科学会秋季シンポジウム/PSJM2024の演題応募から運用することが報告された。更新された指針については、秋季シンポジウムHP、小児外科学会HP、メール配信等を通じて、会員に周知していくことが報告された。
- ・倫理審査については2023年秋季シンポジウムを踏襲し、会長が審査、疑義演題に対して研究倫理委員会に審査を依頼することが報告された。PSJMについては倫理審査不要であることが確認された。
- ・会長招宴は10月23日、懇親会は学士会館において10月25日19:00～21:00に開催

する予定であることが報告された。

- ・専門医認定委員会の開催希望日時について事務局から専門医制度事務局業務担当者に確認し、報告することになった。

日時：令和 6 年 10 月 26 日（土）

会場：一橋講堂

テーマ：少子化時代における小児外科医育成

開催形式：現地開催＋ライブ配信 全会場（発表者・座長は現地）

5) 第 41 回秋季シンポジウムについて（大植次期秋季シンポジウム会長）

大植次期秋季シンポジウム会長は欠席のため、報告はなかった。

日時：令和 7 年 11 月 1 日（土）

会場：千里ライフサイエンスセンター

テーマ：新生児外科疾患の長期フォローにおける問題点

6) 第 42 回秋季シンポジウムについて（淵本次々期秋季シンポジウム会長）

淵本次々期秋季シンポジウム会長より、口頭で進捗状況が報告され、承認された。

開催日程・会場は調整中であることが報告された。

会場については東京都内の他、千葉県成田市のホテルも候補として検討していることが報告された。

日時：令和 8 年 10 月 24、または、31 日（土）

（PSJM は 10 月 21-23、または、28-30 日）

会場：選定中

テーマ：小児外科領域における最新技術の応用

7) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会（照井委員長）

照井委員長より、資料に基づき報告がなされた。

2024 年 5 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,625 名（うち海外 2 名）、評議員 279 名、準会員 27 名、名誉会員 58 名（うち海外 8 名）、特別会員 66 名（うち海外 1 名）、賛助会員 1 団体の合計 2,055 名＋1 団体である。

- ・役員選挙に関する内規案が提示され、一部修正・追記し、承認された。内規案を作成した背景について、照井庶務委員長より以下の通り報告された。

2020 年度から役員選挙が電子化され、社員総会（評議員会）での選挙が行われなくなったことに伴い、会場での会長の応援演説・候補者演説がなくなった。役員選挙が電子化されてから候補者の意思表示は所信表明文・演説動画の掲載で対応してきたが、今まで庶務委員会の判断で行われてきた候補者の意思表示方法に関して、一貫性をもたせるために内規案を作成した。

- ・所信表明のフォーマットは日本外科学会のフォーマットを参考に作成し、次回理事会で審議することとなった。

(2) 財務会計委員会（上原委員長）

上原委員長欠席のため、山田財務副委員長から今回特に審議事項がない旨述べられた。
た。

NPO の解散に伴う決算について確認があり、2025 年の社員総会で NPO の解散を報告すべきか事務局から司法書士に確認することになった。

(3) 専門医制度委員会（専門医制度各委員長）

文野施設認定委員会委員長、松浦専門医認定委員会委員長、石丸専門医制度庶務委員会委員長より報告があった。

文野施設認定委員会委員長より就任の挨拶が述べられた。施設認定委員会のメンバーが報告され、専門医機構認定のサブスペ専門医の導入について、木下前委員長とともに関連団体と協調しながら進めていくことが報告された。また、新型コロナウイルスに対する方針は前委員会の方針を継続することが報告された。

松浦専門医認定委員会委員長より、就任の挨拶と共に会長付庶務委員退任の挨拶が述べられた。その後、専門医認定委員会のメンバー及びスケジュールについて報告された。

石丸専門医制度庶務委員会委員長より、就任の挨拶が述べられた。その後、専門医制度庶務委員会の委員構成が報告された。また、委員長補佐を埼玉医科大学病院の鈴木啓介先生にお願いすることが報告され、承認された。

(4) 機関誌委員会（田中秀明担当理事）

田中担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・投稿規定・委員会内規の追記事項について報告された。
- ・第 39 回日本小児外科学会秋季シンポジウム(2023)開催記録（第 60 巻 5 号掲載予定）
- ・第 61 回日本小児外科学会学術集会(2024)開催記録（第 61 巻 1 号掲載予定）

今後、構成案確定ののち原稿依頼をする

- ・名誉・特別会員の追悼文依頼について、長寄彰先生の追悼文は生野猛先生に依頼し原稿入稿済み、岩淵眞先生の追悼文は八木實先生に依頼中、藤野俊夫先生の追悼文は永原暹（のぼる）先生に依頼中であることが報告された。
- ・機関誌投稿における利益相反自己申告書の改訂について承認された。また、利益相反自己申告書をデジタル式にすることを検討していくことになった。

(5) 国際・広報委員会（淵本担当理事）

淵本担当理事より、資料に基づき HP の改定状況が報告された。

- ・英語 HP の PDF が提示され、近日中にアップする予定であることが報告された。
- ・HP バナーの整理について報告され、承認された。
- ・小児救急検討委員会から要望のあった、外科系小児救急受け入れ病院の表示方法について、HP 担当と打ち合わせをしたことが報告された。
- ・小児救急受け入れ病院のバナーの隣に、こども家庭庁への要望のバナーを会員限定の形で設置する予定であることが報告された。

- ・教育委員会から要望のあった本邦小児外科研修病院の表示方法について、日本地図より各都道府県の地図が出るようにした方が良いとの意見が寄せられ、HP 担当に確認することになった。併せて掲載を希望していた小児救急受け入れ病院については、平林担当理事より、ロケーションと病院名がわかれば良いとの希望が述べられた。

(6) 保険診療委員会（尾花担当理事）

尾花担当理事より、口頭で外科学会の保険診療委員会メンバーの変更について報告された。

(7) 教育委員会（内田担当理事）

内田担当理事欠席のため、小野理事長から今回特に審議事項がない旨が述べられた。

(8) 悪性腫瘍委員会（平林担当理事）

平林担当理事より、今回特に審議事項がない旨が述べられた。

(9) 学術・先進医療検討委員会（米田担当理事）

米田担当理事欠席のため、小野理事長より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・金沢医科大学、田村亮先生から「本邦の小児外科専門医の現況について：地理および卒後年数別分布に関する研究」の結果報告があり、委員会で検討した結果問題ないと判断し、承認されたことが報告され、承認された

(10) 倫理・医療安全管理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、口頭で、第 61 回学術集会で 5 月 29 日（水）に開催した医療安全講習会について報告された。

(11) データベース委員会（田中秀明担当理事）

田中担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・2023 年 9 月に提出された「先天性胆道拡張症におけるロボット支援手術の有用性及び安全性評価」の研究計画書について、COI 委員会・研究倫理委員会が審議した結果承認されたことが報告され、承認された。
- ・2022 年 5 月に承認され東京大学医学部医療品質評価学講座にて実施した NCD 利用研究「NCD データを用いた地域医療提供体制の計画に資する分析の検討」について、一部修正を依頼することになったことが報告された。
- ・NCD 利用研究「NCD データを用いた地域医療提供体制の計画に資する分析の検討」の申請方法、及び、これまでの NCD-P データ（学会のデータではないが、会員が入力したデータ）利用研究の申請のパターンについて確認し、データベースの利用申請を整理したことが報告され、慶應大学の立森久照先生に確認の上まとめた 5 つのパターンが提示された。学会としてはパターン 1 を推奨すること、パターン 2 以外は理事会で審議しデータベース委員会に報告すること、パターン 3, 4, 5 についてはオーサーシップを記載してもらうようにすることが確認された。

- ・NCD データ（小児外科領域）利用後ろ向き研究の公募の進捗状況が報告され、承認された。
- ・2023 年秋の「NCD データを利用した複数領域にまたがる新規研究課題の公募」の本学会推薦研究「小児、AYA 世代肝細胞癌の診療状況調査」（広島大学檜山英三先生）について、外科学会から研究可能と報告があり、見積書が提示されたことが報告された。研究代表者である檜山先生には NCD から直接結果が伝達されており、今後は檜山先生と本学会で NCD と直接協議し、研究を進めて行くことが報告された

(12) 小児救急検討委員会（平林担当理事）

平林担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・2024 年度の学会員向けの P A L S および B L S 講習会について報告された。
- ・外科系小児救急患者受け入れ状況アンケートを隔年の実施から毎年の実施へ変更することが報告された。
- ・米倉顧問発案の小児外科学会会員の D-MAT 引受状況アンケートを実施することについて検討中であることが報告された。
- ・小児救急検討委員会主導のアンケートの実施を検討していることが報告された。

(13) トランジション検討委員会（加治担当理事）

加治担当理事より、『外科疾患を有する児の成人期移行についてのガイドブック第 2 版、移行期支援のための患者サマリー（2022 年版）』使用の実態調査』のアンケート結果を集計中であることが報告された。

(14) ワーク・ライフ・バランス検討委員会（尾花担当理事）

尾花担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・2024 年 6 月 11 日に開催されたワーク・ライフ・バランス検討委員会について報告された。
- ・2024 年 PSJM/秋季シンポジウムでの講演会のテーマ、形式、演者候補について報告された。

テーマ：働き方改革

- 1) 形式：講演+総合討論と座談会形式で決を取り、満場一致で座談会形式が選ばれた。
- 2) 演者候補：教授（組織のトップ）と若手にペアでの登壇を依頼することが報告された。

委員会内で候補を選出し、各施設に依頼することが報告され、協力が求められた。

- ・ホームページ掲載の小児外科医募集要項案の進捗について報告された。
- ・アンケート作成について U45WG に連携を提案する予定であることが報告された。

(15) 規約委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に審議事項がない旨が述べられた。

(16) 研究倫理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、口頭でデータベース委員会の審議依頼及び、日本外科学会が 2024 年

3月18日に更新した「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」に基づく新しいカテゴリー分類の周知について報告された。

(17) NCD 連絡委員会 (渕本担当理事)

渕本担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・厚労科研旧門田班「COVID-19の小児外科領域に関する影響」論文の Surgery Today への掲載費用¥574,056-を、筆頭著者の伊勢一哉先生が立て替えており、その内¥166,800-は2023年度の受託研究費から返金した。論文掲載料立替金残額の¥407,256-について審議し、2024年度受託研究費¥50,000-を伊勢先生への返金にあてること、差額分の¥357,256-は委員会活動費から支出することが承認された。
- ・委員会活動を通じての論文投稿、オーサーシップ、オープンアクセスについては、委員長・委員会を通すよう委員長・担当理事にメールで周知することになった。
- ・NCD-P Risk calculator の改良について、進捗状況が報告された。
- ・NCD 小児外科領域 2025年改修要望案の募集に対して、千葉大学小児外科 小松秀吾先生、菱木知郎先生・九州大学小児外科 川久保尚徳先生から追加要望術式「経皮的針生検術(軟部腫瘍・腫瘍)」が申請されたことが報告され、NCDに提出することが承認された。

(18) ガイドライン委員会 (加治担当理事)

加治担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・小児外科診療に関連するガイドラインについての審査について報告された。
- ・腸回転異常症診療ガイドラインの公開後アンケート調査について、2023年にアンケート調査を学会員対象に施行し、2024年5月の第61回日本小児外科学会学術集会のポスター発表で結果発表を行ったことが報告された。現在、学術・先進医療検討委員会への報告書を作成中であることが報告された。
- ・小児胃軸捻転症診療ガイドラインの進捗状況について、現在、一般向け解説を作成中であることが報告された。
- ・厚労科研田口班と連携して行う先天性食道閉鎖症診療ガイドラインについて、作成グループによって疾患トピックの草案が作成されたことが報告された。2024年3月19日キックオフミーティングが開催され、今後はSCOPE策定を行う予定であることが報告された。

(19) 利益相反委員会 (米田担当理事)

小野理事長より、米田担当理事から審議・報告事項ない旨連絡があったことが報告された。

(20) 医薬品・医療機器検討委員会 (内田担当理事)

内田担当理事欠席のため、小野理事長から今回特に審議事項がない旨が述べられた。

(21) ロボット支援手術検討委員会 (家入副理事長)

家入副理事長より口頭で、日本外科学会の遠隔手術に関する専門領域間合意形成のため

のデルファイ・プロセスについてのアンケートに回答したこと、および、プロクター申請について報告された。

(22) 総合調整委員会（家入委員長）

家入委員長より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

(23) 日本外科学会理事会（田尻前々理事長）

奥山監事より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

(24) 四者協関連（小野理事長）

小野理事長より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

8) 選挙管理委員の選任について（小野理事長）

小野理事長より、大阪医科薬科大学の富山英紀先生に依頼することが報告された。内諾は庶務委員が得ることが報告された。

9) 【門田班・高橋班／門脇班】事務局体制に関して（小野理事長）

小野理事長より、資料に基づき、報告された。

- ・医学会連合から高橋班（旧門田班）／門脇班の事務局体制変更の連絡があったことが報告された。
- ・2024年5月に改訂された研究公表時のルールについて報告された。

10) 令和6年度日本小児外科学会役員・委員名簿案（小野理事長）

小野理事長より、令和6年度日本小児外科学会役員・委員名簿案が提示され、確認が依頼された。

会長付庶務委員に就任した渡邊 佳子先生から挨拶が述べられた。

11) 秋季シンポジウム小委員会

家入副理事長より口頭で、秋季シンポジウム小委員会について報告された。

- ・20年以上取り扱われていない疾患でアップデートされたものを取り上げることを検討したことが報告された。
- ・テーマ候補について、順位はつけず、秋に開催される秋季シンポジウム委員会で報告することが報告された。

12) 後援依頼：こども科学研究費補助金「DV・性暴力被害者の医療と連携した支援体制の構築のための研究」の報告会（尾花理事）

尾花理事より資料に基づき、報告された。

- ・令和6年9月28日に広島大学で開催されるこども科学研究費補助金「DV・性暴力被害者の医療と連携した支援体制の構築のための研究」の最終報告会について、研究代表者である島根大学松江保健管理センターの河野美江教授より後援依頼があったことが報告さ

れ、承認された。

13)理事会出席方法について

小野理事長より口頭で、理事会の出席について、現地参加を推奨することが提案された。奥山監事から、外科学会は現地参加を推奨していることが報告され、今後の理事会は原則として現地参加とすることが承認された。尾花理事より、来年の理事選挙の際には理事会へは原則として現地参加になることを伝えた方が良いとの指摘があり、承認された。

1. 報告事項

1) 理事長報告（小野理事長）

- (1) 株式会社メディコンからプロビアックカテーテル供給問題解消の通知を受領した。
- (2) 日本小児泌尿器科学会からの通信文「パブリックコメント周知へのお礼」を受領した。
- (3) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No. 410」を受領した。

2) その他の報告

3) 次回定例理事会日程の確認（小野理事長）

次回定例理事会は令和6年9月17日(火) 11:00～16:00 大阪大学東京オフィスで開催することが確認された。

理事長 _____

理 事 _____

理 事 _____